



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp**～全国 4,577 箇所の道路冠水想定箇所を可視化～
「そなえる冠水マップ」と「冠水リスクアラート機能」を提供開始**

2026年10月20日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、道路やアンダーパス（掘り下げ式の立体交差）の冠水による人的・物的被害を未然に防止することを目的に、平時から冠水リスクを確認できる「そなえる冠水マップ」（以下、「本マップ」）を2026年10月20日から無償公開します。

また、同日から、「被害予測・防災 cmap」アプリ（以下、「cmap アプリ」）内への本マップの掲載および「豪雨アラート」プッシュ通知による本マップの案内を開始するとともに、10 月中に「タフ・見守るクルマの保険 N e x T」専用アプリによる「運転中の注意喚起機能」の提供を開始します。

1. 背景

近年、線状降水帯や局地的な大雨などにより、道路冠水による人的・物的被害が全国各地で発生しています。特に、道路や鉄道などの下を通るアンダーパスは、周囲より低い構造であるため、短時間の大雨でも冠水するおそれがあります。冠水した道路に車両で進入すると、水深や流速によっては車両が走行不能となり、車外への脱出が困難になる可能性があります。

そこで当社は、テレマティクスデータやデジタル技術を活かし、冠水による人的・物的被害の未然防止に向けて、3つの機能・サービスを提供することとしました。

2. 道路冠水に備える3つの機能

	そなえる冠水マップ	冠水リスクアラート機能	
		cmap アプリ（豪雨アラート・マイマップ）	「タフ・見守るクルマの保険 N e x T」専用アプリ
活用シーン	平時・大雨・豪雨時	大雨・豪雨時	
		非運転中	運転中
提供開始日	2026年10月20日		2026年10月中
機能・活用方法	マップで見える化 全国の「道路冠水想定箇所」※1および「大雨時の注意箇所」をリスト化し、地図上に表示します。また、当社のテレマティクスデータを個人が特定されない形で統計化し、走行量の多い地点をリストの上位に表示します。 これにより、日常的に利用する道路周辺の冠水注意地点を、平時から確認できます。 また、気象庁の高解像度降水ナウキャストを地図に重ねて表示でき、大雨・豪雨時には現在の雨雲の位置と冠水想定箇所をあわせて確認できます。	最大60分前にマップを案内 大雨・豪雨が予測される場合、最大60分前に配信している既存の「豪雨アラート」プッシュ通知に、「そなえる冠水マップ」へのリンクを掲載します。 通知からマップにアクセスすることで、現在地または登録地点周辺の冠水注意箇所を確認できます。 また、マップはアプリ内のマイマップに掲載し、いつでも確認できます。	運転中に注意喚起 目的地を設定している場合は走行ルート上、目的地を設定していない場合は進行方向にある冠水注意地点※2をアイコンで表示し、音声で注意喚起します。
利用対象	どなたでも利用できます（無償・登録不要）	cmap アプリをインストールした方（無償）	「タフ・見守るクルマの保険 N e x T」のご契約者さま

利用方法	当社オウンドメディア 「 <u>hints!</u> 」内で公開 (PC、スマホ、タブレット)	<u>cmapアプリ</u> をスマホ or タブ レットにインストール (スマホ、タブレット)	スマートフォンの 専用アプリ内で利用可能 (スマホのみ)
			

本サービスは、冠水リスクの把握を支援する参考情報を提供するものであり、実際の冠水状況、通行可否または通行の安全性を保証するものではありません。本サービスに表示される情報のみをもって通行可否を判断せず、大雨・豪雨時は、自治体、気象庁、道路管理者等が発信する最新情報を確認し、危険を感じた場合は無理に通行しないでください。運転中はスマートフォンを操作せず、必要に応じて安全な場所に停車して確認してください。

※1 国土交通省の各地方整備局および北海道開発局が公表する道路冠水想定箇所のうち、全国 47 都道府県 4,577 箇所（2026 年 10 月時点）を対象としています。これらの地点を、国土地理院「ハザードマップポータルサイト」の浸水想定と照合し、想定浸水深に応じて 4 段階で表示します。

※2 本アプリで表示する冠水注意地点及び案内機能は、株式会社ナビタイムジャパンから技術提供を受けるものです。

<各ツールのイメージ>

【そなえる冠水マップ】



【cmap アプリ→そなえる冠水マップ画面遷移】

豪雨アラート



そなえる冠水マップ



【「タフ・見守るクルマの保険N e x T」専用アプリ】



3. 今後の展開

当社は今後も、テレマティクスデータやデジタル技術を活用し、道路冠水をはじめとする自然災害による被害の未然防止に取り組みます。地域の皆さまが災害リスクを把握し、適切な回避行動を取れる環境を整備することで、安全・安心なまちづくりに貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

